

立教法学 第四一号 内容

定価 二四〇〇円

論 説

「契約当事者の地位の移転」の再構成(三・完)

野澤 正 充

行政判例と行政法学(二)

——モリス・オーリウの行政法学——

橋 本 博 之

憲法学にとつてのもうひとつの「諸個人の結合」

——あるいは、家族について——

中 山 道 子

Just Another Voluntary Association of Individuals?

——The Family in Japanese Constitutional Theory——

Michiko Nakayama

研究ノート

情報・通信分野における規制緩和……………舟 田 正 之

立教法学 第四二号 内容

定価 三〇九〇円

論 説

清沢冽におけるナショナリズムとリベラリズム

北 岡 伸 一

戦後青年団運動の思想

五十嵐 暁 郎

強制競争入札制度と地方政府改革構想

新 藤 宗 幸

アンシアン・レジーム期フランスの政治思想における

国家と家族

吉 岡 知 哉

不処分決定と一事不再理の効力

荒 木 伸 怡

行政判例と行政法学(三)

橋 本 博 之

重野安繹の中国観

陶 徳 民

‘He that hath the Dominion over the Child’

Michiko Nakayama

研究ノート

『白堅武日記』に見る九・一八事変

光 田 剛

ネオ・コーポラティズムと「合理性」の転換

岡 田 憲 治